

< あなたの治療について >

呼内-CBDCA/CPT11-SCLC-q4w

今回の治療は、CBDCA/CPT-11 療法という治療法で、カルボプラチン(CBDCA)とイリノテカン(CPT-11)という2種類の注射薬を併用して行います。カルボプラチン、イリノテカンは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。2つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

治療全体の流れ

今回の化学療法は4週間が1コースとなっています。各コースの1日目と8日目と15日目に点滴を行います。この治療を4週間(28日間)ごとに4回繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~3日目	4~28日目
	アプレピタント (吐き気止め)	内服	125	80	お休み

アプレピタントは症状に応じて上記日数を超えることがあります。

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~7日目	8日目	9~14日目	15日目	16~28日目
	グラニセトロン デキサート (吐き気止め)	点滴 約30分		お休み	お休み	お休み	お休み	お休み
	グラニセトロン (吐き気止め)	点滴 約30分	お休み					
	イリノテカン (抗がん剤) 60mg/m ²	点滴 約1時間						
	カルボプラチン (抗がん剤) 5AUC	点滴 約1時間			お休み		お休み	

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について (頻度 20%以上)

カルボプラチン・イリノテカンについて

白血球減少、血小板減少、ヘモグロビン減少・貧血、赤血球減少、ヘマトクリット値減少
悪心・嘔気・嘔吐、食欲不振 下痢、腹痛

特徴的な副作用について

イリノテカンにおける

過敏症状

呼吸困難、血圧低下等

下痢

* 排便回数の増加、水様便又は腹痛を伴うような場合は、医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

腸管穿孔、消化管出血、腸閉塞、腸炎

激しい下痢、腹痛、下血、頑固な便秘など

間質性肺炎

「息切れがする、息苦しくなる；から咳が出る、発熱」などの症状

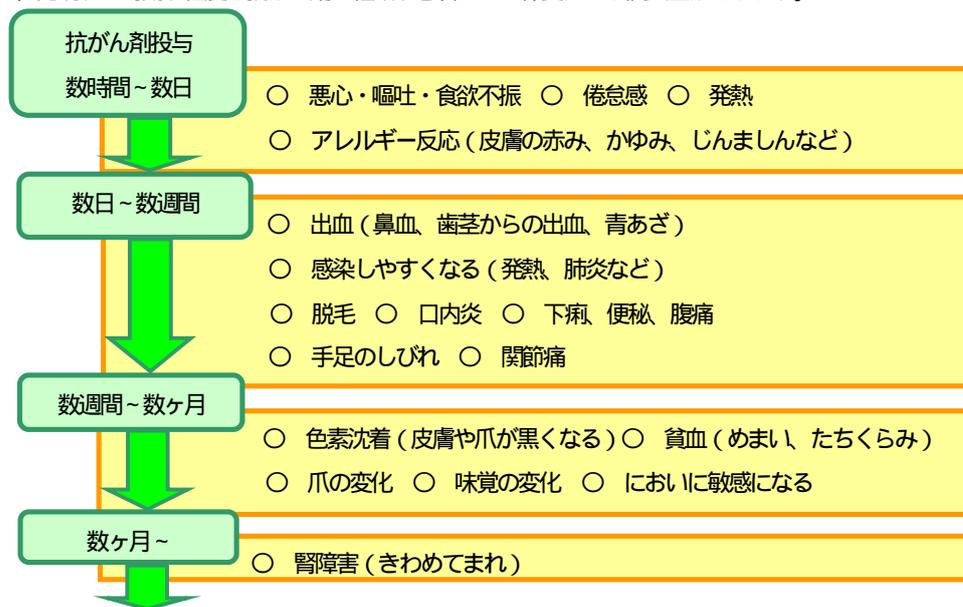
* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗がん剤による副作用だけでなく、他の抗がん剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



副作用の対策について

吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【カルボプラチン】

<汎血球減少等の骨髄抑制> 発熱、悪寒、咳、鼻水が出る、めまい、出血しやすい、血が止まりにくい、あざができる、体がだるい、疲れやすい、息切れ、のどの痛み

<ショック・アナフィラキシー様症状> 唇や爪などが青紫色になる、胸や息が苦しくなる、急に気分が悪くなる、めまいがする

<間質性肺炎> 発熱、咳、胸や息が苦しくなる

<急性腎不全> 尿の出が悪くなる、血尿が出る

<肝不全、肝機能障害、黄疸> 黄疸が出る

<消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍> 激しい腹痛、下血

<脳梗塞、肺梗塞> 意識の低下、手足のしびれ、息苦しい

<血栓・塞栓症> 手足のしびれ、息苦しい

<心筋梗塞、うっ血性心不全> 動悸、息切れ、胸が痛い、苦しい

<溶血性尿毒症候群> 出血しやすい、血が止まりにくい、尿の出が悪くなる、皮膚や白目が黄色くなる、めまいがする、皮膚に紫色の斑点ができる

<急性呼吸窮乏症候群> 急に呼吸が困難になる

<播種性血管内凝固症候群> 出血しやすい、血が止まりにくい

<急性膵炎> 上腹部の激痛

<出血性腸炎、偽膜性大腸炎> 激しい腹痛、下痢

<麻痺性イレウス> 食欲不振、悪心・嘔吐、著しい便秘、腹痛、腹部の膨満、腸内容物のうっ滞

【イリノテカン】

<骨髄機能抑制> いつもより体がだるく熱っぽい、皮下出血がある。

<重症感染症（敗血症、肺炎等）> 寒気がする。ふるえを伴う急激な高熱がでる。脈拍数が増加する。筋肉痛がある。関節が痛い。血圧が下がる。咳や痰が出る。息切れがする。

<DIC（播種性血管内凝固症候群）> 階段や坂を上る時に心臓がドキドキする。息切れがする。身体がだるくなる。鼻血、歯ぐきの出血、皮下出血など、出血しやすくなる。

<感染症> 寒気がする。熱がある。だるい。

<下痢・腸炎> 泥状または水様の便が続く。突然、下痢になったり、吐き気、おなかが痛くなる。また、長期的に下痢や便秘異常が続いたり、便に粘液が混ざることがある。

<腸管麻痺・腸閉塞> おなかが張って痛み、吐き気がする。便が出なくなったり、おならが止まる。

<消化管出血> 暗赤色・鮮血色の血液が便の表面に付着する。イチゴゼリー状の便、黒色便、タール便がでる。

<腸管穿孔> 激しい腹痛が始まり痛みが持続する。

<過敏症> 発しんやかゆみなどがでる。熱感があって、だるい。気分が悪い。

<ショック> 下痢や吐いた後、顔が青ざめる。冷汗がでる。立ちくらみやめまいがする。息切れがする。意識がなくなる。

<アナフィラキシー様症状> 口の中に違和感を感じる。唇がしびれる。息苦しくなる。蕁麻疹（じんましん）やかゆみがある。眼や唇のまわりが腫れる。意識障害がある。心臓がドキドキする。息切れがする。身体がだるくなる。頬などが赤らむ。

<肝機能障害> 身体がだるくなり、吐き気がする。尿の色が濃くなる。白目や皮膚が黄色くなる。

<急性腎不全> 尿量が少ない。食欲がでない。身体がだるい。むくむ。

<間質性肺炎・肺線維症> から咳がでる。息苦しい。息切れがする。

<肺塞栓症> 突然、息が苦しくなり、胸骨（胸の中央の骨）の下に不快感を覚える。脈が速くなる。

<静脈血栓症> 下半身で血液がうっ滞をおこしたところが腫れたり、口唇や頬が青紫色になる。歩行により痛みが増す。

<心筋梗塞> 突然、胸が締めつけられたり、焼けるような痛みが強く、長く続く。

<狭心症発作> 急に胸が締めつけられたり、押さえつけられたり、詰まったような痛みがおこる。胸だけでなく、みぞおち付近や左腕、肩まで痛みがひびくことがある。

<心室性期外収縮> 瞬間的に心臓がドキッとしたり、脈が抜けたような感じや息が詰まる感じがする。

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。